

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 29 年 8 月 31 日 (2017.8.31)

【公開番号】特開 2015-46391 (P2015-46391A)

【公開日】平成 27 年 3 月 12 日 (2015.3.12)

【年通号数】公開・登録公報 2015-016

【出願番号】特願 2014-154520 (P2014-154520)

【国際特許分類】

H 0 5 B 33/12 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

H 0 5 B 33/14 (2006.01)

H 0 5 B 33/02 (2006.01)

H 0 5 B 33/04 (2006.01)

H 0 5 B 33/22 (2006.01)

G 0 2 B 5/20 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/12 E

H 0 5 B 33/14 A

H 0 5 B 33/14 Z

H 0 5 B 33/02

H 0 5 B 33/04

H 0 5 B 33/22 Z

H 0 5 B 33/12 B

G 0 2 B 5/20 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 7 月 14 日 (2017.7.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の可撓性基板と、
前記第 1 の可撓性基板上のトランジスタと、
前記トランジスタ上の有機絶縁層と、
前記トランジスタと電気的に接続する、前記有機絶縁層上の発光素子と、
前記発光素子上の第 2 の可撓性基板と、
前記発光素子及び前記第 2 の可撓性基板の間の着色層と、を有し、
前記着色層は前記発光素子と重なり、
前記有機絶縁層及び前記着色層は、同一の主成分を含む発光装置。

【請求項 2】

第 1 の可撓性基板と、
前記第 1 の可撓性基板上のトランジスタと、
前記トランジスタ上の有機絶縁層と、
前記トランジスタと電気的に接続する、前記有機絶縁層上の発光素子と、
前記発光素子上の第 2 の可撓性基板と、
前記発光素子及び前記第 2 の可撓性基板の間の着色層及び遮光層と、を有し、

前記着色層は前記発光素子と重なり、

前記有機絶縁層、前記着色層、及び前記遮光層は、同一の主成分を含む発光装置。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 に記載の発光装置を有し、

前記発光装置の少なくとも一部を曲率半径 1 mm 以上 1 0 0 mm 以下で折り曲げること
ができる電子機器。